



せいねんかいがいきょうりよくたい
青年海外協方隊

やまもと れいお
山本 麗音



しんねん あ
新年, 明けましておめでとうございます。ついに2020年。去年のラグビーワールドカップに引き続き, 今年(ことし)は東京(とうきょう)でオリンピック(オリンピック)が開催(かいかい)されます。きっと海外(かいがい)からも多く(おほく)の観光客(かんこうきゃく)が来(こ)られると思(おも)います。いつも習(なら)っている英語(えいご)を使(つか)って話(はな)しかけてみる良いチャン(い)スですね。

あつ かげつ みなさん
あと3(さん)か月(かげつ)でみなさんは次(つぎ)の学年(がくねん)に進級(しんきゅう)します。1(いち)月は往(い)ぬる, 2(に)月は逃(に)げる, 3(さん)月は去(さ)るといって, この3(さん)か月(かげつ)は行事(ぎょうじ)なども多(おほく), あつという間(ま)に過(す)ぎてしま(し)います。今年(ことし)1(いち)年(ねん)は, みなさんにとつてど(ど)んな1(いち)年(ねん)になるでし(し)ょうか。こ(こ)んな1(いち)年(ねん)にしたい!と自(じ)分(ぶん)で目(め)標(ひょう)を立て(た)て, すてきな年(とし)になるようにしたいです(す)ね。

なみびあ
ナミビア(なみびあ)の学校(がっこう)は1(いち)月(がつ)15(じゅうご)日(にち)から1(いち)学期(がっき)が始(はじ)まります。先生(せんせい)がナミビア(なみびあ)で活(かつ)動(どう)をするの(の)も残(のこ)り3(さん)か(かげつ)月(き)を切(き)りました。残(のこ)り(の)期(か)間(かん)を大(たい)切(せつ)に頑(がん)張(ぱ)りたいと思(おも)います。そ(そ)して, 帰(き)国(こく)後(ご)に久(ひさ)しぶりにみなさん(みなさん)に会(あ)えるの(の)を大(たい)に喜(よろこ)びにしています。

こんかい くに
今回はどこの国(こ)でし(し)ょう?

さて, アフリカ(あふりか)の国(くに)々(じょう)を紹(しょう)介(かい)するシ(し)リ(り)ー(り)ズ。今(こん)回(かい)で4(よっ)か(こく)国(め)目(め)に(に)な(な)ります。

①



②



①は「タンザニア」という国(くに)で(で)した(し)た(た)ね。今(こん)回(かい)は②の国(こ)旗(き)を持(も)つ(つ)国(こ)です。タンザニア(に)と似(に)ていて黒(くろ)い(い)ラ(ら)イン(ん)が真(ま)ん中(なか)にあり(あ)ります。さて, これ(これ)はど(ど)こ(こ)の国(こ)旗(き)で(で)し(し)ょう(しょう)か? 正(せい)解(かい)は...今(こん)回(かい)紹(しょう)介(かい)する(す)のは「ボツワナ」という国(くに)です。



あお やじるし せんせい す
青(あお)い矢(や)印(じるし)が先生(せんせい)が住(す)んで(い)る
ナミビア(なみびあ), そ(そ)して東(ひがし)隣(となり)の赤(あか)いところ
が「ボツワナ」です。ナミビア(なみびあ)からボ
ツワナ(ぼつわな)ま(ま)では, 飛(ひ)行(こう)機(き)で1(いち)時(じ)間(かん)半(はん)
ぐ(ぐ)ら(ら)いで行(い)くこ(こ)と(と)が(が)で(で)き(き)ま(ま)す。

第4カ国目・ボツワナ

今回協力してくれるのは、ボツワナで青少年活動隊員として活動している『黒木祥子』さんです。黒木さんは、ボツワナに来る前はタイで幼稚園の先生をしていました。その時に、「これから繋がる子どもたちに、遠く離れたアフリカにも興味を持ってほしい。そのためにはまず自分がアフリカの生の声を伝えられる先生になりたい。」と思ったことがきっかけで、青年海外協力隊に応募されたそうです。それでは、黒木さんがどんな活動をしているのか見てみましょう。



こんにちは、黒木祥子です。

【出身】宮崎県宮崎市

【仕事】ボツワナの首都・ハボロネにある児童養護施設で、子どもたちが毎日楽しく安心して過ごせるようにお手伝いしています。

【大人になる前にしておいた方がいいこと】

やってみたいなと思うことは、やってみる。将来の自分が「本当にしたいこと」は、きっと今できる色々な経験から見えてくるよ!

【みんなに一言】

Actions speak louder than words!!(言うよりやってみることが大切!!)いつか皆さんに会える日を楽しみにしています!



私の活動先では、お父さんやお母さんと一緒に住むことのできない子どもたちがたくさん暮らしています。子どもたちが笑って過ごせるように、遊びやイベントを企画しています。



ボツワナにはたくさんの動物保護区があります。動物園では見ることのできない野生の姿がたくさん見れますよ!